

平成29年度行政事業レビューシート ( 厚生労働省 )

事業名	医療系ベンチャー育成支援事業			担当部局庁	医政局			作成責任者		
事業開始年度	平成29年度	事業終了 (予定)年度	終了予定なし	担当課室	経済課			課長：大西 友弘		
会計区分	一般会計									
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-			関係する計画、 通知等	-					
主要政策・施策	科学技術・イノベーション			主要経費	その他の事項経費					
事業の目的 (目指す姿を簡 潔に。3行程度以 内)	医療系ベンチャー振興のための方策を展開し、医療系ベンチャーのエコシステムの確立を図り、ベンチャー発のイノベーションを促進する。									
事業概要 (5行程度以内。 別添可)	<p>「①エコシステム(好循環)を醸成する制度づくり」として、医療系ベンチャーへの民間資金の導入を促進するため、ベンチャー企業の有する技術・シーズ等に対する適正な評価を促進する。</p> <p>「②エコシステムを構成する人材の育成と交流の場づくり」として、大手企業、金融機関、研究機関、医療機関等のキーパーソンとベンチャーのマッチングに資するイベント「ジャパン・ヘルスケアベンチャー・サミット(仮称)」を開催するほか、医療系ベンチャー企業にサポートを行う人材を確保するため、医薬品・医療機器等に豊富な知見を有する人材と各ベンチャーとのマッチングを行うほか、各開発段階で生じた課題等に総合的な支援を行う。</p> <p>「③『オール厚労省』でのベンチャー支援体制の構築」として、医療系ベンチャー、ベンチャーファンドその他産学官関係者による協議の場(医療系ベンチャー振興推進協議会(仮称))を開催する。</p>									
実施方法	委託・請負									
予算額・ 執行額 (単位:百万円)			26年度	27年度	28年度	29年度	30年度要求			
	予算 の 状 況	当初予算	-	-	-	399				
		補正予算	-	-	-					
		前年度から繰越し	-	-	-					
		翌年度へ繰越し	-	-	-					
		予備費等	-	-	-					
	計		0	0	0	399	0			
	執行額		-	-	-					
	執行率(%)		-	-	-					
当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%)		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!						
平成29・30年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目		29年度当初予算	30年度要求	主な増減理由					
	薬事経済調査委託費		399							
	その他		0	0						
	計		399	0						
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標		成果指標		単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 -年度	目標最終年度 29年度
	ベンチャー企業等への相談支援の実施による各種課題の解決による開発・製品化プロセスの進展		ベンチャー企業等への相談支援の実施件数		成果実績	-	-	-	-	-
					目標値	-	-	-	-	精査中
					達成度	%	-	-	-	-
根拠として用いた 統計・データ名 (出典)	担当課による推計									
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標				単位	26年度	27年度	28年度	29年度 活動見込	30年度 活動見込
	ベンチャー企業等への相談支援の実施件数				活動実績	-	-	-	-	-
					当初見込み	-	-	-	精査中	-
単位当たり コスト	算出根拠				単位	26年度	27年度	28年度	29年度活動見込	
	単位あたりコスト				単位当たり コスト	百万円	-	-	-	精査中
	X(執行額)÷Y(相談支援の実施件数)				計算式	X/Y	-	-	-	精査中

政策評価、経済・財政再生アクション・プログラムとの関係	政策評価	政策	政策大目標8 革新的な医療技術の実用化を促進するとともに、医薬品産業等の振興を図ること。									
		施策	革新的な医療技術の実用化を促進するとともに、医薬品産業等の振興を図ること(施策目標I-8-1)									
		測定指標	定量的指標		単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標年度 - 年度		
			精査中	実績値	-	-	-	-	-	-		
				目標値	-	-	-	-	-	-		
		本事業の成果と上位施策・測定指標との関係										
		本事業を実施することにより、我が国において医療系ベンチャーのエコシステムが形成され、日本と世界の保健医療水準の向上と力強い経済成長を同時に達成する。										
		アクション・プログラム	経済・財政再生	改革項目	分野:	-						
				(第一階層) KPI	KPI (第一階層)		単位	計画開始時 年度	28年度	29年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度
					成果実績	-	-	-	-	-	-	
目標値	-				-	-	-	-	-			
達成度	%			-	-	-	-	-	-			
(第二階層) KPI	KPI (第二階層)				単位	計画開始時 年度	28年度	29年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度		
	成果実績			-	-	-	-	-	-			
	目標値			-	-	-	-	-	-			
達成度	%			-	-	-	-	-	-			
本事業の成果と改革項目・KPIとの関係												
-												

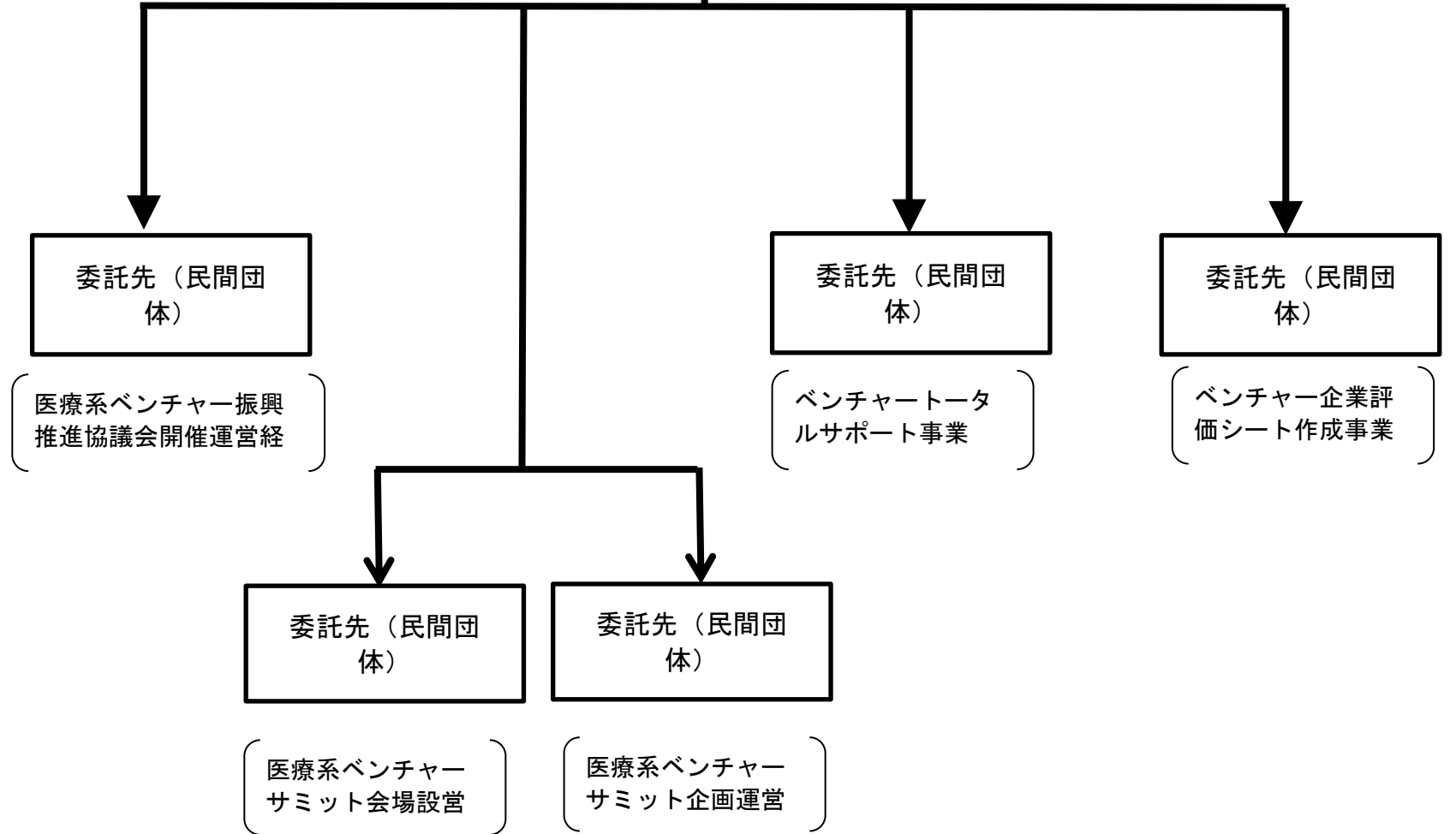
事業所管部局による点検・改善

項目		評価	評価に関する説明			
国 必 費 投 入 の 性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	医療系ベンチャーの振興は、骨太の方針等でもその重要性が指摘されており、国費を投入する必要がある。			
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	日本と世界の保健医療水準の向上と力強い経済成長を同時に達成しようとするものであり、国が実施する必要がある。			
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	骨太の方針及び日本再興戦略に沿った重要な施策であり、優先度は高い。			
事 業 の 効 率 性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	-				
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	無				
	競争性のない随意契約となったものはないか。	無				
	受益者との負担関係は妥当であるか。	-				
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	-				
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-				
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	-				
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-				
事 業 の 有 効 性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	-				
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-				
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	-				
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	-				
関 連 事 業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-			
	所管府省名	事業番号	事業名			
点 検 ・ 改 善 結 果	点検結果	-				
	改善の方向性	-				
外部有識者の所見						
点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
平成22年度	-	平成23年度	-	平成24年度	-	
平成25年度	-	平成26年度	-	平成27年度	-	
平成28年度	新29-028					

※平成28年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

# 厚生労働省

【委託】



資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)  
(単位: 百万円)

費目・使途 (「資金の流れ」に おいてブロックご とに最大の金額 が支出されている 者について記載 する。費目と使途 の双方で実情が 分かるように記 載)	A.			B.			
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)	
	計			0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	-	-	-	-		-	-	

国庫債務負担行為等による契約先上位10者リスト

	ブロック名	契約先	法人番号	業務概要	契約額 (百万円)	契約方式	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (契約額10億円以上)
1		-	-	-	-		-	-	